

説法の総ては衆生成仏のため

布教部長 村松潮隆

絵 藤田由也

問ふて云く、釈迦一期の説法は皆衆生のためなり。衆生の根性万差なれば説法も種種なり。何れも皆得道なるを本意とす。然れば我が有縁の経は人のためには無縁なり、人の有縁の経は我が為には無縁なり。故に余経の念仏によりて得道なるべき者の為には、觀經等はめでたし、法華経等は無用なり。法華によりて成仏得道なるべき者の為には、余経は無用なり、法華経はめでたし。「四十余年には未だ眞實を顕さず」と説くも「種種の道を示すと雖も其れ實には仏乗の爲なり」と云ふも、「正直に方便を捨てて但無上道を説く」と云ふも、法華得道の機の前の事なりと云ふ事、世こそつてあはれ然るべき道理哉。なんと思へり。いか心が心うべきや。若し爾らば大乘、小乗の差別もなく、權教、実教の不同もなきなり。何れをか仏の本意と説き、何れをか成仏の法と説き給へるや、甚だいぶかしいぶかし。

【語句の意味】

問ふて云くお聞きします。質問いたします。

釈迦一期お釈迦様一生涯。

説法お釈迦様が教えを説くこと。

根性機根性質。能力素質。

万差なれば千差万別であるから。

種種なりさまさまである。

得道なる仏道を行じて悟りを開くこと。成仏。

本意とす真の意思とする。本来の目的とする。

然ればそうであるから。さて。そこで。

我が有縁の経自分に縁のあるお経。自分が悟

り、成仏に至るためのお経。

無縁なり縁がないのです。

余経他のお経。・以外のお経。

念仏阿弥陀信仰。南無阿弥陀仏。

によりて・・・によって。

観經無量寿經の略。(浄土三部經の一つ)

めでたしめでたい。尊い。すばらしい。

無用なり必要ないです。

成仏得道仏道を修行して仏に成る。成仏。

なるべき者達成する者。

「四十余年には未だ真実を顕さず」お釈迦様

が最初に説法をされてから四十数年、未だ

に真実は話していない」と言う意味。法華

經(真実の經)の前置きとして説かれた無

量義經 説法品第二の一節。

「種種の道を示すと雖も其れ実には仏乗の為な

り」様々な教え(道)を説いてきたけ

れども、それは本当に説きたい一仏乘(法

華經)を説くためであった」と言う意味。

妙法蓮華經 方便品第二の一節。

云ふも説かれたのも。

「正直に方便を捨てて但無上道を説く」素

直に方便である仮のお経を捨てて、ただこ

の上なき道の法華經を説く」と言う意味。

妙法蓮華經 方便品第二の一節。



法華得道の機きの前まへ 法華経を聞いて成
仏できる能力（機根）が備わる
以前。

世こそつて 世間は悉く皆。

あはれ ありがたい。尊い。

然るべき 当然な。相應しい。

道理どうり哉かな 正しい道だ。正しい筋道だ。

なんと思へり ・・・ と言うように思う。

いかに心こころうべきや どのように理解りかい（了

解）するべきだろうか。

若し爾しからば もしそうならば。

大乘、小乗の差別さべつもなく 大乘仏教

と小乗仏教の区別くべつがなくなる。

権教、実教 仮かりに説かれた方便の教

えと真実の教え。

不同ふどうもなきなり 違いがなくなる。

何れいずをか どれを。どちらかを。

本意ほんいと説き 本来の意思と述べる。

成じようぶつ仏ぶつの法ほうと説ときと成じようぶつ仏ぶつが可能な教くわうええと言いわれ。

説たまきたま給たまへるや説たまかれたのたらうらうか。

いぶかしいぶかし疑ぎわしい。不ふ審しんである。

【現代語にしてみる】

質問いたします。お釈迦様一生涯の説法は、みな衆生のためです。衆生の能力（機根・根性）は千差万別ですから、それに合わせて様々な説法をされました。どの教えも総て成仏を目的としています。ですから自分が成仏できる教えのお経（有縁の経）は、能力の違う他人には、縁の無いお経です。反対に他人が成仏できるお経は、自分のためには縁の無いお経です。だから法華経ではない余部の阿弥陀経で成仏できる者にとっては、浄土三部経の一つ観無量寿経は、ありがたいけれど法華経は不要です。法華経によって成仏を得る者には、他のお経は不要で、法華経こそありがたいものです。お釈迦様が、法華経の前置きとして説かれた無量義経に「最初に説法を始めた時から現在まで

の四十数年、未だ真実の説法はしていない」と言われ、妙法蓮華経方便品第二に「様々な教えの道を示してきたけれども、それは本当に説きたい一いち仏ぶつ乘じよう（法華経）を説くためであった」また「素直に方便の教えを捨てて、ただこの上なき道の法華経を説く」と法華経を説くのが目的で最高の教えだと述べられているけれども、法華経以外のお経は、法華経が理解できる能力が備わるために必要な教えであったのだから、世間の人々は、どのお経も尊くありがたいのが道理だと思つています。そこをどう理解するべきでしょうか。もし、どのお経も同じに尊いならば、大乘仏教と小乗仏教の違いも無く、仮の教え権教と真実の教え実教の違いも無くなつてしまいます。どのお経をお釈迦様の真意とすれば良いのか、どのお経が成仏できる教えと言われたのか、非常に分かり難にくく疑ぎわしいのですが如何でしょう。

— 続く —